

第8回(平成26年度)受賞者の紹介



31 三井不動産レジデンシャル株式会社

(景観協定締結及び
まち並み形成活動)

建

市内で2番目となる景観協定を締結したこと、現代の洋風建築を落ち着いた素材・色彩・形態で統一し、落ち着いた街並み及び緑あふれる開放的な街並み空間を形成したことは本市におけるまちづくりのモデルケースとなる。



32 緑のみずがき隊

(北方生きものミニ自然園等における
自然景観の啓発及び保全活動)

啓 緑

かつて北方地区に見られた水田などの原風景的な水辺景観の復元維持活動を行い、イベントを通じて地域の子も達が自然景観に触れられる機会を与えている。



33 千葉商科大学 朽木ゼミナール

(「中山参道とつと混む」を通じた
地域景観の啓発と地域活性化活動)

啓

学生の目線からの地域景観を発掘し、情報発信を通じて地元住民への景観意識の向上に寄与した。また、発行にあたっては、学生たちが何度も足を運んで取材を続け、記事執筆、編集、デザインまでを1年以上にわたり、全て自分たちで手掛けている。